

## 第 24 期日本学術会議 農学委員会林学分科会（第 3 回）議事録

日 時：平成 30 年 12 月 10 日（月） 15:00～17:00

場 所：日本学術会議 5-C 会議室

出席者：丹下、池邊、五十田、井上、鮫島、竹中、（スカイプ参加）川井、杉山、鈴木、田中、  
徳地の各委員

資 料：

1. 議事次第
2. 第 24 期林学分科会第 2 回議事録
3. マスタープラン 2017 学術大型研究計画（林学分科会提案）
4. 第 24 期シンポジウム案 1（田中委員）（参考資料：田中委員の森林技術寄稿文）
5. 第 24 期シンポジウム案 2（五十田委員）（机上配布）

議 事

### 議題 1 24 期シンポジウムのテーマと開催時期について

資料 4、5 に基づいて、田中委員からシンポジウム案「森林環境譲与税による森林資源の適正管理と木質資源の有効活用」、五十田委員からシンポジウム案「林業と建築における木材利用」について、それぞれ説明があった。森林環境譲与税に関しては、平成 31 年度から実施予定であり、導入状況等を踏まえるなどの準備期間を設けてから開催した方が好ましいとの意見があり、平成 31 年 5～7 月に木材利用に関するシンポジウムを、平成 32 年に森林環境譲与税に関するシンポジウムを開催することとした。開催日や講演者等の詳細については、メールで議論することとした。

### 議題 2 学術大型研究計画（マスタープラン 2020）の策定について

丹下委員から 2018 年 12 月 8 日に公表された報告「第 24 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」についての説明とマスタープラン 2017 策定での林学分科会の対応について説明があった。これまでは、林学分野と林産学分野でそれぞれ提案してきたが、温暖化対策や持続可能な社会の実現において、森林の適正管理と森林資源の持続的利用が不可欠であることから、両分野が連携してアピールすることが重要との結論に達した。森林管理や森林資源造成、木材利用などを繋げる、森林資源の循環利用の基盤となるデータ科学の展開をテーマに、12 月末をめどにたたき台を作成し、連携した提案が可能か検討することとした。木材利用に関しては、建築分野などと連携し融合領域で提案することも検討することとなった。